

学習活動の展開

学習活動 学びの姿 関わる姿	自分の学びを創り上げていくための手立て
<p>小単元「米づくりのさかんな地域」 パケツ稲づくりを行い、田植えから観察してきた米の収穫を行う(稲刈り→脱穀→粃摺り)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">稲刈りから精米まで様々な過程がある</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">手作業では特に粃摺りが大変である</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">自分たちが育てた米を食べてみたい</div> </div> <p>(1)全国の米袋集め(デザインの参考として)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">山形県産米を食べる家庭が多い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">米の名前や色合い、美味しい炊き方の説明等、デザインにいろいろな工夫が見られる</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">前月の給食で出た新品種「雪若丸」の米袋がある</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">他県産米や他の新品種の米袋もいろいろな工夫がある</div> </div> <p>(2)収穫した玄米の(ア)ネーミング、(イ)入れる米袋のデザインを全員に募集し、グランプリや特別賞を決定する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">米売り場で目立ちそう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">買って食べてみたいくなる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">また買ってみたいくなる</div> </div> <p>米袋の選考に関わる関係者にグランプリや選考に関わる過程を伝え、アドバイスをもらう。</p> <p>①米袋の選考委員を務めた農家(埼玉) ②グランプリを受賞した流通会社元社員(大阪)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食料生産をめぐる問題点① 資料から日本の食料自給率が低いことを読み取る。 ・わたしたちの食料生産をめぐる問題点② 資料から日本の食料自給率が減ってきたことの原因を考える。 ・食の安全・安心の取り組み③(本時) 食の安全・安心に向けて行われている取り組みや環境との関連について調べ、食の安全・安心に向けた行動について考える。 ・これからの食料生産について考える④ 「つや姫マイスター」を招聘し、農業と自然環境との結びつきや来年度から米の生産調整が終了することを視野に入れた動向について考える。 ・これからの消費者について考える⑤ 学習したことを提案カードにまとめ、発表し合う。 <p>(1)福島県農産物流通課 or いわき市魅せる課 (2)つや姫マイスター ※本単元を通して継続していくこと。</p>	<p>・米づくりの過程をパケツ稲の観察と比較しながら理解しやすいようにする。</p> <p>・粃摺りを一人一人が体験する中で、1粒であってもたくさんの工夫や努力の蓄積があることを体験的に理解する。</p> <p>・量は少なくとも、自分たちが育てた米という意識を持たせる。</p> <p>・子どもたちが各家庭で食べた米の袋を集めると共に、山形県産以外の米や新品種の米袋を集め、可能な限り、いろいろなデザインの米袋に触れるようにする。</p> <p>・子どもたちには「米袋デザインコンテスト」の参考にする意味合いであるが、消費者にPRする工夫が凝縮されたものとして考えさせるようにする。</p> <p>・コンテストには、「消費者が買いたくなる」という観点で学級全員が審査員となって実施することを確認する。</p> <p>・現時点において、「消費者が買いたくなる」ポイントをまとめ、本時の観点と比較しやすいようにする。</p> <p>・子どもたちの提案し、グランプリや特別賞となった米袋を、本当の選考委員やデザイナーに評価してもらい、さらに「本物感」を醸成するようにする。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>・給食の献立から、日本の食料自給率の低さを考えさせるようにする。</p> <p>・食料自給率低下の背景や国際的な情勢、それに伴う課題や対策等について、考えるようにする。</p> <p>・トレーサビリティの実際を見る等、安全性を確認したり、消費者自身が安心できる判断材料を得たりして、食の安全・安心に係るつながりを具体的に実感できるようにする。</p> <p>・第一次産業が自然環境と密接な関わりをもって営まれていることを知ると共に、来年度から生産調整が終了することに伴う、新品種生産等の動向にも考えを広げるようにする。</p> <p>・これからの食料生産について話し合ってきたことを基に、明日からの食料生産にどう向き合っていくか、提案書にまとめ、情報発信するよえにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>食育の観点から、一人一人の食に関する学びの履歴をとらえやすくするように、「食の日記」を毎時間継続して書いていくようにする。</p> </div>